

目次

1	平成20年度の博物館運営	
■	事業の概要 ● 日誌抄	2
■	統計資料 ● 予算・決算 ● 月別入館者数	3
	● 各事業参加者数 ● 博物館利用者数	
■	出版活動 ● 出版物 ● 図書販売実績	4
■	施設管理 ● 第2展示室利用状況	5
2	展示公開事業	
■	企画展「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」	6
■	企画展「ちょっと昔の暮らし」	7
■	ミニ企画展 ● アンコール「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」	8
3	教育普及事業	
■	ふるさと入門講座 ● 「石仏コース」 ● 「考古学コース」	9
	● 「流山今は昔コース」	10
■	博物館子ども教室	11
■	博物館実務実習生の受入れ	12
■	講師派遣 ■ 協力事業	
4	調査研究事業	
●	「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」 ● 「ちょっと昔の暮らし」	13
●	「流山の昔の暮らし」 ● 「中世の流山を探る」	
●	「石仏」 ● 「利根運河」	14
5	市史編さん事業	
■	流山市史編さん審議会	15
■	流山市史編集委員会	
■	教育普及事業 ● 古文書講座	
■	調査研究事業 ● 古文書の解説	
6	収集保管事業	
■	新収蔵資料	16
■	二次資料 ■ 資料の館外貸出	17
■	資料の閲覧・撮影・転載許可	18
7	流山市立博物館のあらまし	
■	設置の目的 ■ 沿革	19
■	施設概要	21
■	設備概要	22
■	平成20年度博物館組織	23
■	流山市史編さん審議会 ■ 流山市史編集委員会	
■	職員 ■ 臨時職員	24
8	一茶双樹記念館利用状況	25
9	杜のアトリエ黎明使用状況	26
10	博物館友の会活動状況	27

1 平成20年度の博物館運営

■ 事業の概要

第1回企画展では平成10年度に実施した「懐かしの流山」の続編となる「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」を、第2回企画展では、昨年度に引き続き「ちよっと昔の暮らし」を開催した。これは小学校4年生の社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前から現在に至るまでの道具や暮らしの移り変わりを学習するのに対応した展示である。

ミニ企画展として、好評に終了した第1回企画展のアンコール展示を開催した。

教育普及事業では、ふるさと入門講座として3コース「考古学コース」・「石仏コース」・「流山今は昔コース」を実施し、さらに、学校週5日制に伴う余暇利用の一貫として「博物館子ども教室」（茶道教室・絵画教室・どんぐり笛づくり等）を開催した。また、博物館案内パンフレットを発行し、催事スケジュールを掲載した。

収集保管事業では、市民から民俗資料等24件304点の寄贈を受け入れた。

調査研究事業では、当該年度の企画展の調査をはじめ、板碑調査を実施した。

市史編さん活動事業では、古文書解説整理事業・古文書講座などを実施した他、『流山の歴史』刊行作業を進めた。

● 日誌抄

期日	内 容	期日	内 容
4月20日	子ども勾玉づくり教室	10月4日	「考古学コース」（全4回）
5月10日	子どもアンギンづくり教室	10月19日	子どもどんぐり笛づくり教室
5月11日	古文書講座（全4回）	10月25日	第4回小林一茶まつり
5月20日	市史編さん審議会	10月31日	防災訓練
6月1日	子ども茶道教室	11月22日	子ども勾玉づくり教室
6月29日	「石仏コース」（全4回）	12月20日	アンコール企画展～（2/10） 「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」
7月13日	第1回企画展～（9/15） 「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」	12月21日	子ども押し花工作教室
7月20日	子ども土笛づくり教室	1月25日	子どもアンギンづくり教室
7月30日	博物館実習生受入～（8/7）	2月4日	市史編集委員会
8月24日	子ども自然観察教室	2月14日	「流山今は昔コース」（全4回）
9月13日	子ども貝輪づくり教室	2月15日	子ども無題創作教室
9月19日	市史編集委員会	3月15日	子ども勾玉づくり教室
10月1日	第2回企画展～（11/24） 「ちよっと昔の暮らし」		

■ 統 計 資 料

●予算・決算

(単位：円)

事 業 名	予算現額	事 業 名	予算現額
	決算額		決算額
博物館事務管理事業	2,236,047	一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明指定管理者事業	11,920,000
	2,145,481		11,800,000
博物館活動事業	8,902,000	一茶双樹記念館 用地取得事業	23,590,000
	8,098,610		23,589,250
博物館施設管理事業	13,945,293	市史編さん活動事業	1,332,000
	13,679,440		1,122,206
一茶双樹記念館 維持管理事業	224,000	流山の歴史刊行事業	1,503,000
	169,633		787,978
杜のアトリエ黎明 維持管理事業	9,000	合 計	63,661,340
	8,172		61,400,770

※職員の人件費は上記予算に含まない。

●月別入館者数

区分 月	開館 日数	個 人	団 体		計
			入館者数	団体数	
4 月	25	2,222人	25人	1団体	2,247人
5 月	27	2,746人	224人	3団体	2,970人
6 月	25	2,777人	343人	5団体	3,120人
7 月	26	4,432人	66人	1団体	4,498人
8 月	27	5,524人	20人	1団体	5,544人
9 月	24	3,577人	168人	4団体	3,745人
10 月	26	3,319人	637人	6団体	3,956人
11 月	26	2,309人	229人	5団体	2,538人
12 月	23	1,287人	45人	1団体	1,332人
1 月	23	1,401人	0人	0団体	1,401人
2 月	24	1,837人	0人	0団体	1,837人
3 月	25	2,184人	23人	1団体	2,207人
合計	301	33,615人	1,780人	28団体	35,395人

●各事業参加者数

- ふるさと入門講座「考古学コース」全4回 133人
- ふるさと入門講座「石仏コース」全4回 204人
- ふるさと入門講座「流山今は昔コース」全4回 166人
- 博物館子ども教室 全12回 283人
- 「古文書講座」全4回 144人

●博物館利用者数 ＊月別入館者数と各事業参加者数合計 36,325人

■ 出 版 活 動

●出版物

名 称	判	頁	部数
『流山市立博物館年報 No.30』	A4	31	250
調査研究報告書26 『中世の流山を探る一附．流山市内板碑集成一』	A4	144	700

●図書販売実績

* 絶版非掲載

(一茶双樹記念館) は一茶双樹記念館のみで販売

書 名	販 価	販売数	書 名	販 価	販売数
4 流山の絵馬と額	1,260	1	流山市史 通史編Ⅰ	2,620	3
6 流山の職人	1,470	2	流山市史 通史編Ⅱ	2,500	6
7 流山の農業	840	4	流山市史 八木村誌	4,200	0
8 流山の講	1,360	3	流山市史 流山町誌	4,200	0
9 流山の衣生活	1,050	1	流山市史 新川村関係文書	4,200	0
10 河川と流山	1,360	4	流山市史 利根運河関係資料	5,250	1
11 流山の屋敷神	1,470	3	流山市史 近世資料編Ⅰ	5,250	0
12 流山の道	1,260	4	流山市史 近世資料編Ⅱ	5,250	0
13 流山糧秣廠	1,050	7	流山市史 近世資料編Ⅲ	6,300	0
16 不思議	1,360	0	流山市史 近世資料編Ⅳ	6,300	1
18 流山と自転車	580	4	流山市史 近世資料編Ⅴ	6,300	1
19 中野久木谷頭遺跡	900	18	流山市史 近世資料編Ⅵ	4,720	0
20 吉野誠の世界	600	8	流山市史 植物編	4,200	1
21 流山の醸造業Ⅰ【資料編】	1,260	3	流山市史 民俗編	6,300	2
22 流山の醸造業Ⅱ【本文編】	1,150	8	流山市史 文化財編	4,200	1
23 博物館でタイムトリップ	710	41	流山市史研究 第2号	840	1
24 流山庚申塔探訪	1,330	22	流山市史研究 第3号	1,050	0
25 懐かしの流山Ⅱ	700	179	流山市史研究 第4号	1,150	2
聞き書き 流山の野菜作り	340	6	流山市史研究 第5号	1,260	2
聞き書き 電化製品のある暮らし	380	7	流山市史研究 第6号	1,150	2
常設展示図録	560	14	流山市史研究 第7号	1,260	0
展示図録第2集	520	1	流山市史研究 第8号	1,150	0
館蔵品図録	1,050	6	流山市史研究 第9号	1,150	1
館蔵品図録Ⅱ	520	4	流山市史研究 第10号	1,260	0
流山のむかし	500	85	流山市史研究 第11号	1,150	1
流山市文化財マップ	300	60	流山市史研究 第12号	1,050	0
三輪野山貝塚調査概要報告書	1,000	61	流山市史研究 第13号	1,050	0
笹岡了一人と画業の軌跡	730	1	流山市史研究 第14号	1,050	2
テレホンカード 博物館	800	2	流山市史研究 第15号	1,050	3
メモパッド	100	161	流山市史研究 第16号	730	3
記念テレカセットA	600	1	流山市史研究 第17号	500	4
記念テレカセットB	1,000	22	流山市史研究 第18号	500	1
テレホンカード (一茶双樹記念館)	900	2	流山市史研究 第19号	320	5
短冊 (一茶双樹記念館)	700	9	流山市史研究 第20号	300	145
絵葉書セット (一茶双樹記念館)	800	36			
絵葉書バラ (一茶双樹記念館)	100	60			

■施設管理

●第2展示室利用状況

企画展等で利用していない時は、市民の歴史研究や文化活動を支援するため、無料で貸出しをしている。

利用期間	主催者	利用内容	期間内 入館者数
4月 1日～5月 25日	生涯学習課	三輪野山貝塚出土品展	4,811人
5月 29日～6月 3日	神田まり子	心の架け橋（絵画・版画展示）	578人
6月 28日～7月 6日	青木更吉他	墨と花の六人展（書・花展示）	1,567人
3月 10日～3月 15日	流山の風景を描く会	油絵・水彩画展	785人
合 計			7,741人

参考

7月 13日～ 9月 15日 第1回企画展「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」55日間
 10月 1日～11月 24日 第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」47日間
 12月 20日～ 2月 10日 アンコール「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」39日間
 2月 15日～ 3月 1日 子ども教室作品展 13日間
 ＊上記事業における設営及び撤去に要した日数 22日間
 合計176日間は主催事業で使用



▲第2展示室

2 展示公開事業

■ 企画展「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」

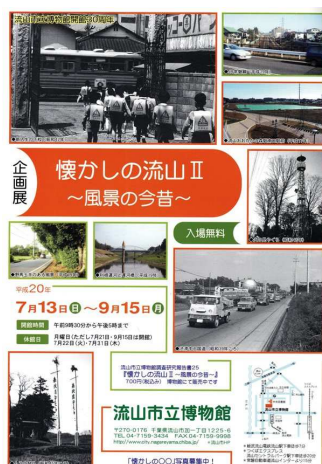
開催期間＝平成20年7月13日（日）～平成20年9月15日（月）

観覧者数＝10,577人

開催趣旨

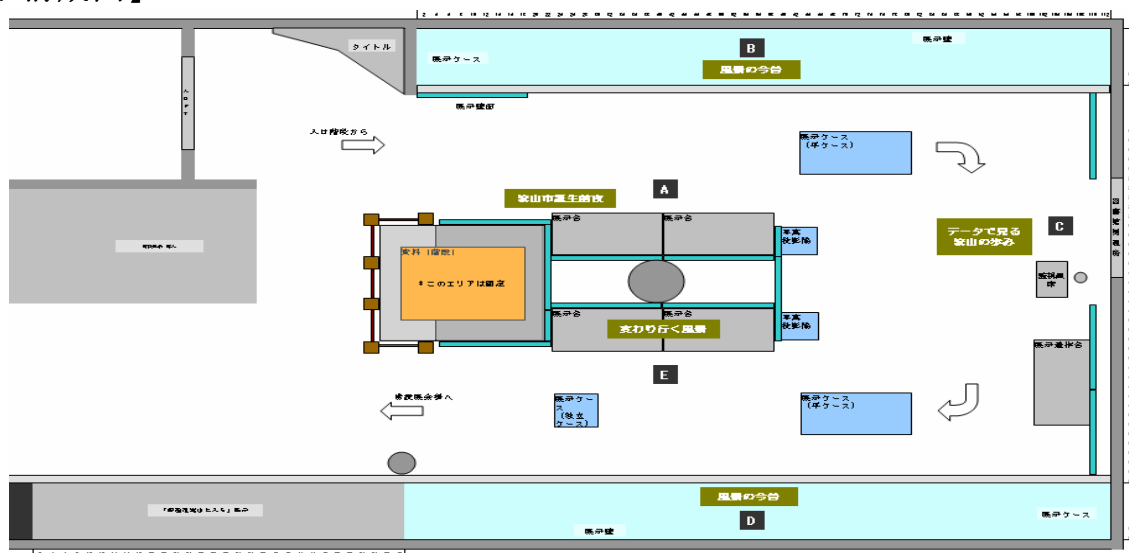
過去の様子を記録した写真のもつ価値は計りしれない。その価値に注目した当館では、平成10年度に「懐かしの流山～写真に見る日々の暮らし～」と題した企画展を開催したほか、機会を捉えては古い写真を紹介し、好評を得ている。

今回の企画展では、流山に市制が施行された昭和42（1967）年前後の写真を中心に紹介した。それらの撮影地点の現在の様子もあわせて紹介することにより、確実に過ぎ行き、決して逆行することのない「時」という目には見えない世界を感じ、暮らしぶりの変化を振り返る場を設けた。



▲展示状況

【展示構成図】



■ 企画展「ちょっと昔の暮らし」

開催期間＝平成20年10月1日（水）～平成20年11月24日（月）
観覧者数＝6,601人

開催趣旨

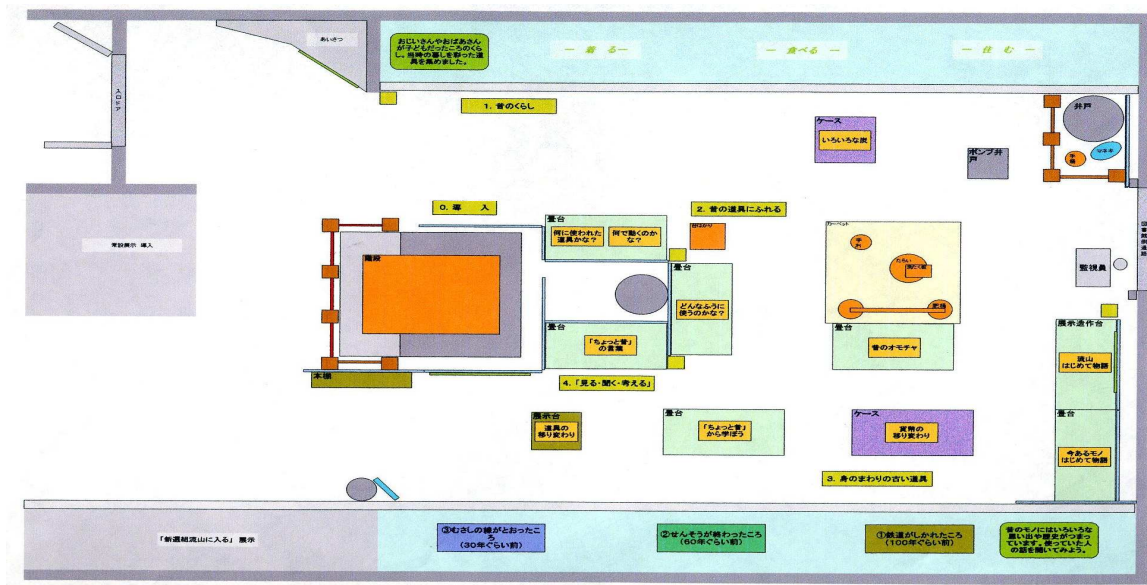
小学校4年生は社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前からの生活の移り変わりを学習する。当館では、この時期に100年くらい前の民具や写真を展示し、学習の手助けができればと考え、企画展「ちょっと昔の暮らし」を開催している。毎年少しずつ構成や資料を替え、今回が8回目である。この企画展には、市内外の小学生が団体で来館し、昔の民具の見学や体験などを通じ学習をしている。

また、一般市民に対しても流山市の100年くらい前からの歴史を理解することはもとより、展示資料を通じて世代間交流の場を目指した。



▲展示状況

【展示構成図】



■ ミニ企画展

● アンコール「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」

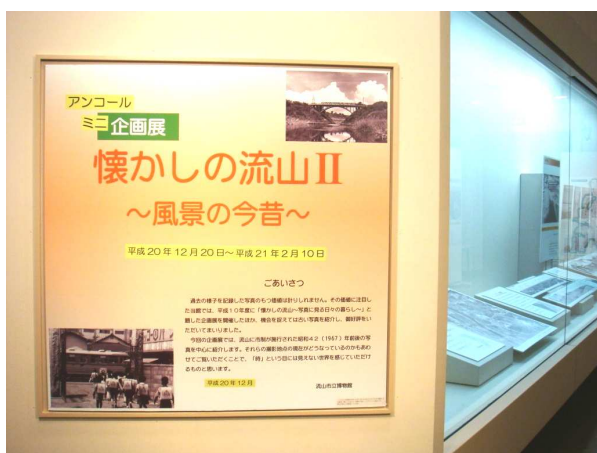
開催期間＝平成20年12月20日(土)～平成21年2月11日(水)

* 1日延長

観覧者数＝2,694人

開催趣旨

第1回企画展「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」は10,000人を超す入場者で好評のうちに終了した。その時に作成したパネルを再利用して、時の流れによる暮らしぶりの変化を振り返った。



展示状況



3 教育普及事業

■ ふるさと入門講座

● 「石仏コース」

石仏について学び、石仏をとおして地域の歴史や民俗、それを学ぶ方法、そして生涯学習の楽しみを知ってもらう一助とした。

(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参加者数
1	6 月 2 9 日（日）	慶應義塾大学准教授 石神 裕之	石仏の世界	5 5 人
2	7 月 1 3 日（日）		石仏のかたち（形態）	5 4 人
3	7 月 2 7 日（日）		石仏のいのり（信仰）	4 7 人
4	8 月 1 0 日（日）		流山の石仏	4 8 人
会場：中央図書館会議室			参加人数合計	2 0 4 人

● 「考古学コース」

「女性研究者の眼Ⅱ」として、西アジア・東南アジア・日本など、広い視点からの考古学の成果を学び、地域の歴史を学ぶ方法や、生涯学習の楽しみを知る一助とした。

(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参加者数
1	10月4日(土)	昭和女子大学国際文化研究所客員研究員 阿部 百里子	東南アジアの中の日本	35人
2	10月18日(土)	千葉県教育振興財団主席研究員 白井 久美子	房総の古墳時代	34人
3	11月1日(土)	慶應義塾大学講師 徳永 理砂	アラビア香料の道をたどって	31人
4	11月15日(土)	松戸市立博物館学芸員 倉田 恵津子	縄文時代の東と西	33人
会場：中央図書館会議室			参加人数合計	133人

●「流山今は昔コース」

過去の人びとの足跡をたどり、市民とともに歴史を学ぶことを目的に開講しているふるさと入門講座「流山今は昔コース」。今年度は「流山の江戸時代を見直す」というテーマのもと、最新の調査をもとに江戸時代の流山市域の出来事について再検証した。

(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参加者数
1	2月14日（土）	地方史研究家 青木 更吉	『小金上野高田台両御牧大凡図』を読み解く	52人
2	2月21日（土）		原ノ沢とオランダ観音	43人
3	3月 7日（土）		江戸川開削によって分断された村	42人
4	3月14日（土）		金子市之丞は義賊だったか	29人
会場：中央図書館会議室			参加人数合計	166人



▲石仏コース



▲考古学コース



▲流山今は昔コース

■ 博物館子ども教室

学校週 5 日制に対応するため、市内在住の小中学生を対象として、「茶道教室」「絵画教室」「アングインづくり」等を毎月 1 回実施した。

回	期 日	講 師	内 容	参加者数
1	4 月 20 日(日)	博物館職員	勾玉づくり	2 3 人
2	5 月 21 日(土)	博物館職員	アングインづくり	1 3 人
3	6 月 1 日(日)	流山市茶道親和会	茶道教室	3 0 人
4	7 月 20 日(日)	芹沢圭介美術館長	土笛づくり	3 1 人
5	8 月 24 日(日)	博物館職員	自然観察教室	2 4 人
6	9 月 13 日(土)	博物館職員	貝輪づくり教室	3 2 人
7	10 月 19 日(日)	博物館職員	どんぐり笛づくり	1 6 人
8	11 月 22 日(土)	博物館職員	勾玉づくり	1 7 人
9	12 月 21 日(日)	博物館職員	押し花工作	3 1 人
1 0	1 月 25 日(日)	博物館職員	アングインづくり	2 6 人
1 1	2 月 15 日(日)	博物館職員	創作工作	2 1 人
1 2	3 月 15 日(日)	博物館職員	勾玉づくり	1 9 人
参加人数合計				2 8 3 人



▲ 自然観察



▲ 土笛づくり



▲ 貝輪づくり

■ 博物館実務実習生の受入れ

平成20年度の博物館実習生は、7月30日から8月7日までのうち6日間、実習生7名を受け入れた。

博物館実務実習日程表

期 日	実 習 内 容
7月30日	ガイダンス・博物館活動概説・館内案内・実習生発表
7月31日	館内点検作業
8月1日	収集保管事業
8月5日	収集保管事業
8月6日	調査研究事業・館内点検作業
8月7日	教育普及事業

博物館実務実習生一覧

NO	大 学 名	学 部 名	学年	性別	居住地
1	大東文化大学	経済学部	4	男	流山市
2	大東文化大学	文学部	4	男	流山市
3	立教大学	文学部	3	男	流山市
4	実践女子大学	文学部	4	女	流山市
5	目白大学	人文学部	4	男	柏 市
6	千葉大学	文学部	4	女	流山市
7	清泉女子大学	文学部	4	女	柏 市

■ 講師派遣

市民を中心とした団体及び学校等からの要請により、職員を講師として派遣した。

実 施 日	派 遣 先	内 容	人数
4月23日（水）	長崎小学校	縄文体験講義	5 5
5月24日（土）	流山史跡探訪友の会	諏訪神社・成願寺について講義	1 7
6月 5日（木）	ゆうゆう大学	流山の酒造業の歴史	
10月 8日（水）	小山小学校	授業サポート	4 4
11月 9日（日）	明治大学校友会	史跡めぐり	1 9
11月22日（土）	流山史跡探訪友の会	東福寺・千仏堂について講義	1 2

■ 協力事業

市内の文化事業団体が実施する次の事業に協力した。

実施日	事 業 名	主 催 団 体
4月4日（日）	近藤勇忌	流山歴史文化研究会
9月23日（日）	利根運河まつり	流山歴史文化研究会
10月21日（日）	小林一茶まつり	流山歴史文化研究会

4 調査研究事業

●「懐かしの流山Ⅱ～風景の今昔～」

平成20年度第1回企画展の開催に向け、資料の調査研究を行い、企画展の充実を図った。

期間＝4月～7月



●「ちょっと昔の暮らし」

平成20年度第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」の開催に向け、100年くらい前からの民具や玩具を対象として調査研究を行い、企画展の充実を図った。

期間＝4月～10月

●「流山の昔の暮らし」に関する聞き書き

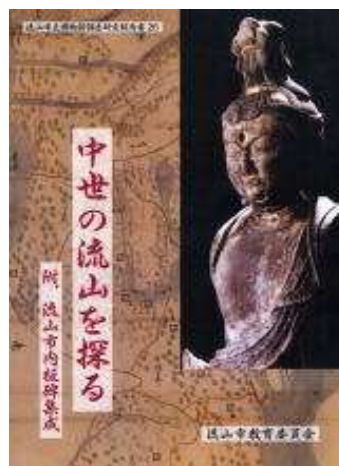
流山市立博物館ボランティア「聞き書きの会」のメンバーとともに、報告書の刊行に向けて、調査研究を行った。

期間＝4月～3月

●「中世の流山」

中世の流山について、文献史料・考古遺物等を調査するとともに、中世資料の中核となる板碑の集成を行い、調査研究報告書第 26 号「中世の流山を探る 附流山市内板碑集成」を刊行し、平成 21 年度第 1 回企画展に向けて準備を行った。

期間＝4 月～3 月



●「石仏」

「庚申塔を調査し隊」が企画展「流山庚申塔探訪」の後、「石仏を調査し隊」と名称をかえ、市内の石仏の調査を月に 1 回行った。

期間＝4 月～3 月



調査活動風景

●「利根運河」

平成 22 年度「利根運河通水 120 年記念合同企画展」の開催に向け、資料の調査研究を行った。

期間＝4 月～3 月

5 市史編さん事業

■ 流山市史編さん審議会

市史編さん事業の推進にあたり、市史編さん事業に対する要望や意見を広く求め、その方向性を検討するため平成20年5月20日（火）・平成21年3月19日（木）に開催した。

■ 流山市史編集委員会

平成21年度刊行予定の『流山の歴史』に係る編集委員会を、平成20年9月19日・平成21年2月4日に開催し図書内容について協議した。

■ 教育普及事業

● 「古文書講座」

初心者を対象として開催し、古文書解読の基礎を習得した。（敬称略）

回	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	5 月 1 1 日（日）	中央図書館会議室	解読入門 1	成城大学民俗学 研究所研究員 榊原史子	45 人
2	5 月 2 5 日（日）		解読入門 2		33 人
3	6 月 8 日（日）		解読入門 3		36 人
4	6 月 2 2 日（日）		解読入門 4		30 人
会場：中央図書館会議室				参加人数合計	144 人



▲ 講座風景

■ 調査研究事業

● 古文書の解読

寄贈・寄託・借用の収蔵文書の解読を継続して進めている。

現在、総点数 22,546 点のうち、7,503 点の解読を終えた。

6 収集保管事業

■ 新収蔵資料

受贈資料一覧

NO	受入日	資料名	点数	寄贈者（敬称略）
1	平成20年4月2日	観光パンフレット 「史蹟と酒の流山」	1	大倉 秀之
2	平成20年5月16日	「万上」の小鉢	5	渡部 雅子
3	平成20年5月29日	脇差	2	大川原 繁八
4	平成20年6月6日	軍刀・釜・甕 他	10	秋谷 秀雄
5	平成20年6月24日	神具・古銭・掛軸 他	37	荒木 和信
6	平成20年6月25日	軍用外套・飛行帽・軍服 他	5	須賀 忠信
7	平成20年7月3日	軍用手箱・木銃・米刺 他	10	須賀 忠信
8	平成20年7月15日	モノクロネガ・モノクロプリント	10	大倉 秀之
9	平成20年7月20日	トランシット・打掛・電気炊飯器 他	14	石橋 敏男
10	平成20年8月3日	蚊帳・袴・水平器・行燈 他	9	石橋 敏男
11	平成20年8月5日	ビデオカメラ・ポータブルテレビ 他	3	西村 利英
12	平成20年9月23日	箱ジャッキ・やかん	2	石橋 敏男
13	平成20年10月2日	聴取無線電話私設許可書 他	5	洞下 登
14	平成20年10月9日	置時計・旅行用目覚まし時計	7	白崎 隆三
15	平成20年10月17日	ステレオ	1	秋谷 光昭
16	平成20年11月3日	鯉節削り	1	大川 則子
17	平成20年11月11日	雛人形（七段飾り）	1	池田 悦子
18	平成20年12月16日	石塔	1	渡辺 利男
19	平成20年12月19日	写真・ネガ	7	鈴木 文子
20	平成21年2月12日	プリントゴッコ	2	増宮 健三
21	平成21年3月14日	ベエ(貝)ゴマ	3	青木 更吉
22	平成21年3月17日	素焼のベーゴマ	150	秋谷 光昭
23	平成21年3月19日	土器片・石器片	19	久家 敏博
24	平成21年3月29日	衣料切符	1	吉田 政

計 24件 305点

■ 二次資料

購入図書 20冊
 受贈図書類 662点（図書 659点 CD-ROM 1点 DVD 2点）

■ 資料の館外貸出し

博物館資料館外貸出状況

No.	貸出期間	資 料 名 称	点数	貸 出 先	目的
1	H20. 4. 18～ H20. 5. 2	縄文土器レプリカ 上新宿貝塚出土土器片	6	東深井小学校	教材
2	H20. 5. 1～ H21. 3. 31	秋元松子画 「枯れた花」「残花」「花によせて」	3	流山市立図書館	展示
3	H20. 10. 7～ H20. 10. 28	短冊・掛軸・矢立他	9	株式会社 グリーンダイナミクス	展示
4	H21. 1. 29～ H21. 2. 6	手動計算機・ふいご・石臼 他	6	鰯ヶ崎小学校	教材
5	H21. 2. 12～ H21. 2. 27	鉄瓶・しよいこ・ランプ 他	8	南流山小学校	教材
6	H21. 2. 15～ H21. 3. 4	男雛・女雛・一人雛 他	12	株式会社 グリーンダイナミクス	展示
7	H21. 3. 12 ～ H21. 5. 17	堀切家文書	5	葛飾区郷土と天文の 博物館	展示

■ 資料の閲覧・撮影・転載許可

博物館資料閲覧・撮影・転載許可

(敬称略)

No.	許可日	資 料 名 称	点数	申 請 者	目的
1	6. 7	吉野家文書	1	棚井 行隆	研究用 閲覧
2	7. 20	企画展使用写真	2	千葉日報社	撮影 掲載
3	8. 7	ビデオ「流山橋開通式」	1	木村 憲子	閲覧
4	8. 8	樽を積んだ高瀬舟写真 (所有者中継)	1	茨城県立歴史館	撮影 掲載
5	9. 5	矢立	3	株式会社グリーン ダイナミクス	撮影 掲載
6	10. 30	東深井古墳群出土の埴輪片	4	葛飾区郷土と天文 の博物館	胎土分析
7	10. 26	古写真	9	株式会社 西北社	撮影 掲載
8	10. 24	古写真	6	J C Nコアラ葛飾	放送
9	10. 22	人物埴輪写真	1	奈良文化財研究所	掲載
10	12. 20	銃剣	1	大貫 正男	撮影
11	1. 6	東深井 12 号墳出土 「男子埴輪」	1	株式会社 東京美術	掲載
12	3. 13	糸くり・糸車	2	オーガニックな暮 らしをめざすネッ トワーク	閲覧
13	3. 31	東深井 7 号古墳人物埴輪の 写真	1	葛飾区郷土と天文 の博物館	掲載

7 流山市立博物館のあらまし

■ 設置の目的

流山市立博物館の前身である流山市郷土資料館は、流山市市制施行10周年記念事業のひとつで、市立図書館との複合施設として昭和53年6月1日に開館した。用地はかつて、葛飾県・印旛県の県庁が置かれていた流山市加の台地上である。流山市が首都30km圏内に位置し人口が急増する中で、急速に失われていく文化財や郷土資料を保存・展示するためである。それ以前には市史編さん室が文化財保護行政も担当しながら郷土資料室をもち、民具等資料の収蔵・展示も行っていた。郷土資料館はそれをさらに充実拡大するものであった。

■ 沿革

昭和42年 1月 1日	流山市市制施行
昭和42年	教育委員会に市史編さん担当がおかれ、文化財保護行政も担当する
昭和49年	流山市の3か年実施計画に市立図書館の構想が盛られる
昭和50年	実施計画のマスタープランに、図書館との複合施設として、郷土資料館が浮上、市制施行10周年記念事業に位置付けられる
昭和51年 4月 1日	流山市文化財保護条例施行 市史編さん室設置
昭和52年	コレクター永井仁三郎氏により、資料寄贈の申し入れ
昭和52年 7月15日	郷土資料館開設準備室設置、文化財保護行政は準備室が担当
昭和53年 4月 1日	「流山市郷土資料館」公の施設として設置 館長の下に庶務係と学芸係
昭和53年 6月 1日	流山市郷土資料館開館 常設展「流山ーその風土と歴史」 「武士と町人ー永井コレクションより」のほか小企画展も開催し、以降毎年企画展を開催する
昭和54年10月 1日	設置条例を改正し、教育機関となる
昭和55年 3月 1日	流山市郷土資料館協議会設置
昭和55年 3月20日	博物館法に基づく登録館となる
昭和55年 4月 1日	文化財保護行政を社会教育課に移管
昭和56年 4月 1日	流山市史編さん審議会条例施行
昭和57年 3月31日	流山市史近代資料編『八木村誌』を刊行し、以降市史資料編を刊行
昭和59年 4月 1日	名称を「流山市立博物館」と改称する 教育委員会に部制がしかれ、社会教育部に所属する 機構改革により庶務係、学芸係が一本化されて管理係に、市史編さん室が博物館に統合され、市史編さん係となる
昭和63年 9月 3日	永井コレクションを中心にオーストラリア ブロードメドゥ市で「日本文化展」を開催 9月30日まで

昭和 63 年 10 月 15 日	企画展『武士と町人ー永井コレクションよりー』を収蔵展に展示替え
平成 7 年 7 月 4 日	一茶双樹記念館開館
平成 9 年 4 月 1 日	機構改革により社会教育部が生涯学習部となる
平成 12 年 12 月 22 日	リニューアル改修工事着手
平成 13 年 4 月 1 日	常設展を新たにし、第 2 展示室を設置してリニューアルオープン
平成 13 年 10 月 10 日	杜のアトリエ黎明開館
平成 14 年 4 月 1 日	一茶双樹記念館及び社会教育ギャラリー（杜のアトリエ黎明）が博物館の所管となる
	機構改革により管理係と学芸係となる
平成 18 年 4 月 1 日	指定管理者制度の導入により、一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明の管理・運営が指定管理者となる。（平成 18 年度指定管理者：(株)グリーンダイナミクス）
平成 19 年 4 月 1 日	流山市史編集委員会設置要綱施行
平成 20 年 3 月 31 日	流山市立博物館協議会の廃止（生涯学習審議会の設置に伴い、協議会の役割を審議会に委ねることとなった。）
平成 20 年 11 月 17 日	一茶双樹記念館駐車場用地及び緩衝帯用地を購入（334.6 m ² ）



流山市立博物館



一茶双樹記念館



杜のアトリエ黎明

■ 施設概要

1 規模

建築面積		1,131.00 m ²
延床面積	2 階	720.00 m ²
	3 階	960.00 m ²
	R 階	72.00 m ²
	合計	1,752.00 m ²
敷地面積		4,826.78 m ²

(図書館敷地を含む)

2 構造

鉄筋コンクリート造り 2 階建
(図書館と複合施設)

3 建物設計・監理

ザイマ・サトー建築設計事務所

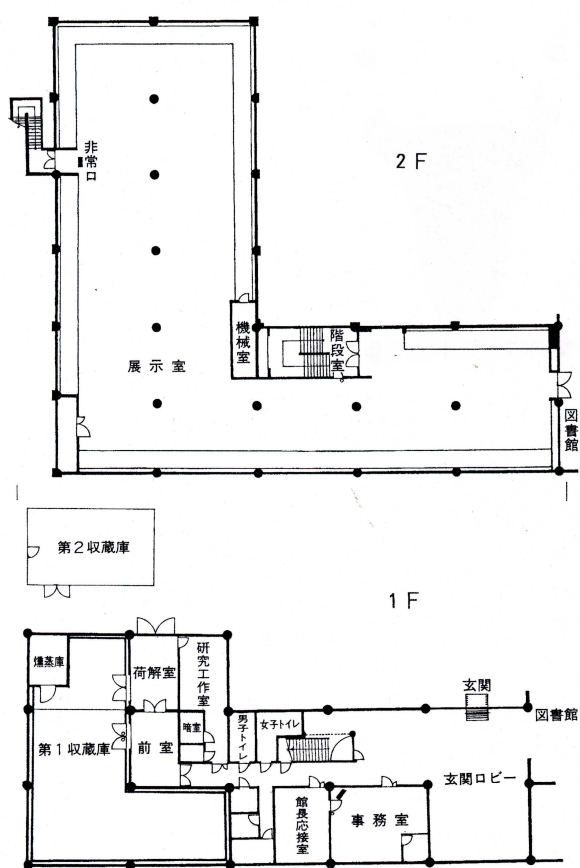
4 建築工事

清水建設株式会社

着工 昭和 52 年 7 月 26 日

竣工 昭和 53 年 3 月 20 日

博物館平面図



5 各室面積一覧

階	室 名	延面積
2 階	収蔵庫	384.0 m ²
	荷解室	24.0 m ²
	暗室及び印刷室	8.0 m ²
	研究工作室	32.0 m ²
	前 室	24.0 m ²
	事務室	48.0 m ²
	応接室	27.0 m ²
	整備・機械室	4.6 m ²
	掃除物置及び管理室	11.6 m ²
	男・女トイレ	20.0 m ²
	階段室	12.0 m ²
	廊 下	56.8 m ²
	展示コーナー	20.0 m ²
3 階	ホ ー ル	48.0 m ²
	小 計	720.0 m ²
	展示室	916.0 m ²
	第2展示室 (展示室のうち)	(137.0 m ²)
	階段室	32.0 m ²
R 階	ダクトスペース	12.0 m ²
	小 計	960.0 m ²
R	機械室	72.0 m ²
合 計		1,752.0 m ²

6 建物総工費 254,613千円

内 訳

本体工事費	178,269,210 円
電気工事費	28,500,000 円
付帯工事費	
給排水工事費	12,606,000 円
冷暖房工事費	28,064,000 円
小 計	69,170,000 円
その他	
事務費	6,613,000 円
外構工事費	560,790 円
小 計	7,173,790 円
合 計	254,613,000 円

7 資金内訳

国庫補助金	32,000,000 円
県費補助金	32,000,000 円
地 方 債	50,000,000 円
一 般 財 源	140,613,000 円
合 計	254,613,000 円

8 展示設計・施工

日本エキジビション企画プロダクション

9 展示総事業費 46,250千円

10 収蔵庫増設費 19,600千円

11 リニューアル事業費 43,129千円

■ 設備概要

1 電気設備

- (1) 受電設備 3相3線 6,600V 50Hz
- (2) 変圧器 屋外用油入自冷式
- (3) 進相コンデンサー 3相 100KVA 2台
- (4) 予備電源(蓄電池) 12V 120AH

2 空調設備

- (1) 一般系統 冷温水機・空気調和機
- (2) 収蔵庫系統 空冷式空調機・24時間運転
- (3) 展示ケース系統 空冷式空調機・24時間運転

3 放送設備

- (1) 普通用・一般アナウンス
- (2) 非常用

5 防火設備

- (1) ハロン1301 消化設備(収蔵庫)
- (2) 自動火災報知設備
- (3) 屋内消火栓設備

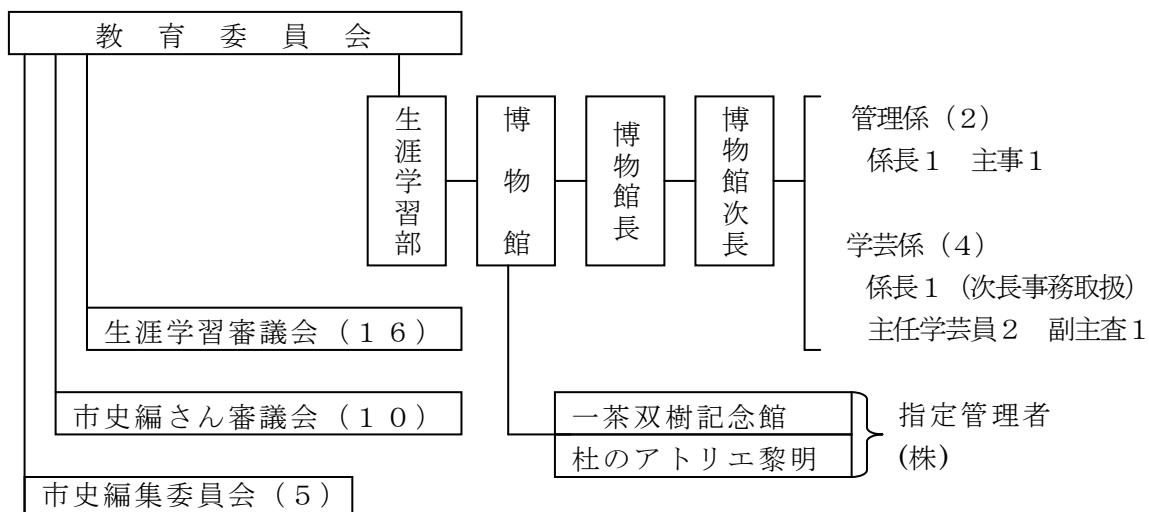
4 昇降設備(収蔵庫～展示室)

積載量 300 kg
か ご 1m×1m×1.2m(H)

6 防犯設備

総合ガードシステム(委託)

■ 平成 20 年度博物館組織



■ 流山市史編さん審議会委員 (敬称略)

区 分	氏 名	役 職	備 考
第 1 号 選 出	青 木 更 吉	地域史研究家	
	小 川 浩	昭和女子大学文学部講師	
	栗 山 秀 純	大正大学教授	会 長
	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	鈴 木 仲 秋	江戸川短期大学名誉教授	
	清 藤 一 順	千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部史学研究科上席研究員	
	堀 部 昭 夫	元千葉県立現代産業科学館副館長	副会長
	村 田 一 二	千葉県総合教育センター嘱託	
	山 田 友 治	東京工芸大学教授	
第 2 号 選 出	松 本 好 夫	図書館長	

任 期 平成 20 年 5 月 16 日から平成 22 年 5 月 15 日まで

■ 流山市編集委員会委員 (敬称略)

氏 名	役 職 名	備 考
小 川 浩	昭和女子大学講師	会長・監修
石神 裕之	慶應義塾大学准教授	原始・古代・中世
中山 文人	松戸市立博物館学芸員	中世
猪 股 寛	野田市立郷土博物館学芸員	近世
松丸 明弘	千葉県立東葛飾高等学校教諭	近代・現代

任 期 平成 20 年 3 月 13 日～平成 22 年 3 月 31 日まで

■ 職員（平成20年度）

館長：川根 正教

次長：山口 憲彦

管理係 係長：黒坂 勝克

主事：吉田 丈展

学芸係 係長：山口次長事務取扱

主任学芸員：増崎恵美子・遠山 仁恵

副主査：横尾 伸一

■ 臨時職員

一般事務（管理係） 1名

資料調査員（学芸係） 3名

資料整理員（学芸係） 3名

企画展監視員（学芸係） 4名（第1回2人 第2回2人）



8 一茶双樹記念館利用状況

■ 一茶双樹記念館入館者数

流山市流山 6 丁目 670-1 04-7150-5750

月	一般 個人	一般 団体	小中 個人	小中 団体	割引	免 除	観覧者 合 計	施 設 使用者	入館者 合 計
4 月	247 人	381 人	5 人	10 人	0 人	177 人	820 人	375 人	1,195 人
5 月	375 人	70 人	3 人	0 人	0 人	288 人	736 人	91 人	827 人
6 月	175 人	75 人	8 人	0 人	0 人	327 人	585 人	140 人	725 人
7 月	144 人	40 人	9 人	0 人	0 人	151 人	344 人	130 人	474 人
8 月	142 人	0 人	10 人	0 人	0 人	576 人	728 人	20 人	748 人
9 月	155 人	40 人	6 人	0 人	0 人	249 人	450 人	222 人	672 人
10 月	327 人	61 人	5 人	4 人	0 人	359 人	756 人	286 人	1,024 人
11 月	331 人	125 人	8 人	0 人	0 人	300 人	764 人	155 人	919 人
12 月	129 人	22 人	10 人	0 人	0 人	126 人	287 人	20 人	307 人
1 月	260 人	36 人	15 人	0 人	0 人	250 人	561 人	37 人	598 人
2 月	338 人	0 人	22 人	0 人	0 人	230 人	590 人	67 人	657 人
3 月	702 人	90 人	13 人	0 人	0 人	246 人	1,051 人	114 人	1,165 人
合 計	3,325 人	940 人	114 人	14 人	0 人	3,279 人	7,672 人	1,639 人	9,311 人

9 杜のアトリエ黎明利用状況

■ 杜のアトリエ黎明利用状況 流山市流山6丁目562-2 04-7150-3536

月	作品展	行事	会議	その他	合計利用件数	利用日数	入館者合計
4月	6件				6件	26日	827人
5月	4件	1件			5件	28日	988人
6月	4件	1件			5件	25日	708人
7月	5件				5件	27日	424人
8月	3件	1件	1件		5件	27日	363人
9月	2件				2件	25日	424人
10月	6件				6件	27日	1,184人
11月	5件	1件	1件		7件	26日	675人
12月	2件				2件	24日	366人
1月	2件				2件	25日	838人
2月	2件		1件		3件	24日	519人
3月	4件		2件		6件	26日	1,152人
合計	45件	4件	5件	0件	54件	310日	8,468人

10 博物館友の会活動状況

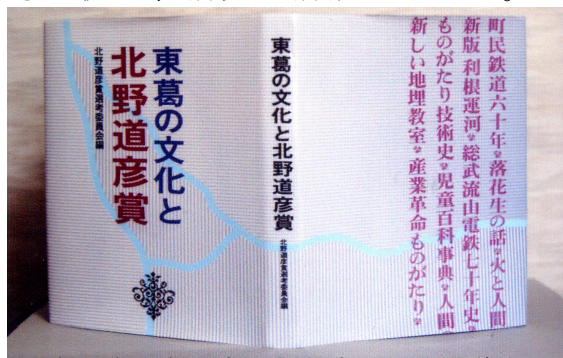
平成 20 年度の活動経過を報告いたします。

友の会の文章、朗読、川柳の 3 講座は本年も盛況で、活発に活動しました。

朗読講座は発表会を開催、多くの人を魅了しました。会報『におどり』は 84, 85, 86 号が発刊され、特に 85 号は友の会発足 30 周年記念号として、友の会の歴史を知る貴重な冊子となりました。毎年行われてきました北野賞の授賞式及びパーティーはこの年が最後の開催となり、同時に『東葛の文化と北野賞』を発刊しました。また、友の会 30 周年を記念するパーティーも開催

され大勢の会員がお祝いに駆けつけました。

友の会恒例の文学歴史散歩は、大江戸文学歴史散歩、松戸歴史散歩、河川巡視船による利根川下り、小松菜屋敷と親水公園など盛りたくさん楽しみました。ワイワイ討論会や手づくり本講習会という異色の催しもありました。恒例の爆笑忘年会で平成 20 年を締め、丑年による初笑い新年会で平成 21 年の幕開けとなりました。眠っている資料を掘り起こそうと収蔵庫の中も見学しました。



友の会の創立者で初代会長の北野道彦の寄付により設立した北野賞は、本年度が最後の授賞式となりました。これを記念して「東葛の文化と北野賞」が発刊されました。

1 年間の足跡（毎月の記事、朗読、川柳の 3 講座は省略）

- 20. 4. 6 流山市立博物館友の会役員会
- 20. 4. 29 流山市立博物館友の会総会
北野賞授賞式及びパーティー、三井ガーデンホテル柏にて
『東葛の文化と北野賞』発刊配布
- 20. 5. 17 大江戸歴史文学散歩（講師：山本鉦太郎）
- 20. 5. 30 『におどり84号』発刊
- 20. 6. 8 松戸歴史文学散歩（講師：相原正義）
- 20. 7. 21 ワイワイ討論会「流山の活性にむけて」
- 20. 8. 7 河川巡視船で利根川をくだる（幹事：阿部辰数）
- 20. 9. 20 シンポジウム『東葛流山研究26号』
- 20. 10. 18 朗読発表会（指導：西村喜美江）京北ホールにて
- 20. 11. 16 『におどり(流山市立博物館友の会創立30周年記念特集号)』発刊
- 20. 11. 18 流山市立博物館友の会創立30周年記念パーティー 京北ホールにて
- 20. 12. 7 流山市立博物館友の会30周年記念爆笑忘年会 小倉ホールにて
- 21. 1. 12 丑年新年会 生涯学習センター
- 21. 2. 8 「手作り本」の講習会（講師：中村哲夫）
- 21. 2. 27 『におどり86号』発刊
- 21. 3. 1 小松菜屋敷と小松川親水公園の道（講師：山本鉦太郎）
- 21. 3. 8 博物館収蔵庫見学会

交通のご案内



- 交通：〔電車〕JR馬橋駅又は新松戸駅より流山線に乗換
流山駅下車 徒歩7分
つくばエクスプレス流山セントラルパーク駅下車 徒歩20分
〔バス〕京成バス（文化会館入口下車） 東武バス（加二号公園前下車）
〔自動車〕県道松戸野田線流山中央交番前
- 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
- 休館日：毎週月曜日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日）
毎月月末の日（但し、月末の日が土・日曜日の場合は除く）
年末年始、その他臨時休館があります。
- 入館料：特別展を除き入館料は無料です。
特別展（大人 210円、小人 100円）
但し、団体など減免制度がありますので、お問い合わせください。